

ソフトバンク、2億5,000万米ドルを東南アジア最大の タクシー配車アプリを提供するGrabタクシーに出資

～ソフトバンクとして、東南アジアのインターネットカンパニーへの過去最大の出資～

SoftBank Internet and Media, Inc. (CEO: ニケシュ・アローラ、以下「SIMI」) と GrabTaxi Holdings Pte Ltd (所在地: シンガポール、CEO: アンソニー・タン、以下「Grabタクシー」) は、ソフトバンク株式会社がGrabタクシーへ2億5,000万米ドル(約298億円*)を出資し、同社の筆頭株主となることに合意しました。

2012年の創業以来、Grabタクシーは東南アジアにおいて最大のタクシー配車アプリ提供者へと急激に成長してきました。安全で信頼できる乗車体験を利用者に提供すること、タクシー運転手の生活をより良くすることという、タクシー業界における課題を解決することを目的に成長したGrabタクシーは、現在マレーシア、フィリピン、タイ、シンガポール、ベトナム、インドネシアの6カ国内17都市においてサービスを提供しています。このたびの戦略的投資とパートナーシップを通じて、SIMIは東南アジアにおいてソフトバンクグループのプレゼンスをさらに高めるとともに、グループ内インターネット企業群との連携によるシナジーの最大化を目指します。

ソフトバンク株式会社のバイスチェアマンおよびSIMIのCEOであるニケシュ・アローラは、以下のように述べています。

「2年という短期間で、Grabタクシーは東南アジアのモバイルタクシー配車サービス業界において最も有力な事業者となりました。これはアンソニーの素晴らしいリーダーシップの証しです。われわれは、アンソニーが率いる優秀なチームとの協業と、Grabタクシーのさらなる事業拡大を支援していくことを楽しみにしています」

Grabタクシー創設者兼CEOであるアンソニー・タンは、以下のように述べています。

「われわれは、本年をソフトバンクからの記録的な出資で締めくくることができ、非常にうれしく思います。同社からの信頼に感謝するとともに、ソフトバンクの知見や経験およびグループ内でのシナジーを、今後のさらなる成長へつなげていきます。このたびの出資は、本業界において劇的な変化を起し、東南アジアにおける交通手段を飛躍的に改善していくというわれわれのミッションの達成を促進させます」

Grabタクシーについて

Grabタクシーのミッションは、東南アジアのタクシー業界において劇的な変化を起すことです。GPS機能を利用し一番近くにいるタクシーを簡単に配車することができるサービスとして、2011年のハーバード・ビジネススクールのビジネスプランコンテストで準優勝しました。2012年の創業以来、マレーシア、フィリピン、タイ、シンガポール、ベトナム、インドネシアにおいて、数万人のタクシー運転手がGrabタクシーを利用し、配車予約を受け付けています。Grabタクシーのアプリケーションは、現在250万件ダウンロードされており、月間ユーザー数は50万人です。Grabタクシーは東南アジアにおいて本業界の先駆者となりました。利用者は、Grabタクシーのアプリケーションをスマートフォンやタブレットにダウンロードし、タクシーの配車予約をすることができます。

詳細は以下をご覧ください。
<http://www.grabtaxi.com>

※1米ドル=119円で換算した場合